

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市緑化センター	評価対象年度	平成23年度
事業者名	・事業者名 財団法人 川崎市公園緑地協会 ・代表者名 理事長 碓 親二 ・住所 川崎市中原区等々力3番12号	評価者	公園管理課担当課長
指定期間	平成22年4月1日～平成27年3月31日	所管課	建設緑政局緑政部公園管理課

2. 事業実績

利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・入園者数調査を5月と10月と3月の平日と休日に実施(5月の休日は雨天のため、実施せず)5月12日(木)818人、10月6日(木)332人、10月9日(祝)469人、3月25日(日)531人、3月30日(金)363人(平成22年度:10月7日(木)273人、10月10日(日)212人、3月4日(金)330人) ・緑化センターまつりでは、西園、東園延べ約9,000人(平成22年度:約3,000人)の来場者を集めた。 ・講習会は合計35講座行い、受講者数は881名であった(平成22年度:16講座、受講者数501人)。 ・緑化相談は総件数752件(平成22年度:717件)、主な内容は栽培管理、病害虫についてであった。
収支実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度の収入は、指定管理事業収入47,280,000円(平成22年度:47,580,000円)、自主事業収入487,193円(平成22年度:199,303円)、その他の収入1,642円(平成22年度:3,068円)、計47,768,835円(平成22年度:47,782,371円)。それに対し支出は、事業費17,573,475円(平成22年度:14,426,794円)、管理費29,101,500円(平成22年度:27,376,262円)、計46,674,975円(平成22年度:41,803,056円)であり、当期収支差額は1,093,860円(平成22年度:5,979,315円)であった。
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化センターまつりの企画・運営を行い、約9,000人(平成22年度:約3000人)規模の来場者を集め、多摩区の魅力アップに貢献した。 ・西園の園路、温室間連絡通路の段差をスロープ構造に改修することでバリアフリー化に努めた。 ・利用者への車いす、乳母車の無料貸出や、ボランティア団体に対し会議室の無料貸出等のサービスを行った。 ・老朽化が進んでいた見本園を整備リニューアルを行った。 ・二ヶ領用水への転落防止のための植栽、五ヶ村掘への転落防止のためのネットフェンスを設置するといった来園者の安全対策を行った。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	1 利用者満足度調査を適切に実施しているか	12	3	7.2
		2 調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ご意見箱」に、前年度より多い49件の意見が寄せられた。これらの意見・要望に迅速に対応したことにより、来園者から「以前来た時よりも花が増えてきれいになった」、「市の時より、雰囲気が良いになった」等の声が寄せられるなど、利用者の満足度が向上した。 ・アンケートについては質問事項に利用者満足度等を加えるなど、改善の余地がある。 ・入園者数調査は昨年度より回数を増やし、仕様書の水準を上回る5回行った。 ・利用者の意見を取り入れ、施設のバリアフリー化等を行った。 			
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	3 計画に基づく適正な支出が行われているか	8	3	4.8
		4 支出に見合う効果は得られているか			
		5 効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	適切な金銭管理・会計手続	6 収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	6	3	3.6
		7 事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
	(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・支出については、計画に基づき適正に行われたことを確認した。 ・委託で行う予定であった樹木の剪定業務を直営職員で行うなど、経費の削減に努めた。 			
適切なサービスの提供	適切なサービスの提供	8 提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4
		9 サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		10 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			

サービス向上及び業務改善	業務改善によるサービス向上	11 実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	4	4.8	
		12 業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか				
		13 業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか				
	利用者の意見・要望への対応	14 利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	3	4.8	
		15 意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
		16 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
	提案事業・自主事業の実施状況	17 施設利用者へのサービス向上につながる提案事業・自主事業を実施しているか	10	5	10	
		18 施設利用者のニーズを踏まえた提案事業・自主事業を実施しているか				
	(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・講座数を増やし(H22:16講座→H23:35講座)、受講者をより多く受け入れ(H22:501人→H23:881人)また、展示会の回数も増やし(H22:16回→H23:22回)、開催期間を長く(H22:326→H23:392日)することで、サービス向上を図った。 ・H22に引き続き、緑化センターまつりを開催し、西園、東園延べ約9,000人(H22:約3,000人)の来園者を集め、地域振興、施設のPR等、大きな役割を果たした。 ・H23から利用者への車いす、乳母車の無料貸出や、ボランティア団体に対し会議室の無料貸出等のサービスを行った。 					
	分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適正な人員配置	19 必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4	
	連絡・連携体制	20 定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	2	3	1.2	
	再委託管理	21 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	2	3	1.2	
	担当者のスキルアップ	22 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	2	3	1.2	
	安全・安心への取組	23 事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	3	2.4	
	コンプライアンス	24 個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	2	3	1.2	
	(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> ・所管課との連絡・連携については、月例報告に合わせて打ち合わせを行うなど、十分に行われていた。 ・月1回、職員のスキルアップを目的に、全職員を対象に草木の栽培などの研修会を行った。 ・講習会の応募者などの個人情報を保管庫に施錠して保管するなど、情報の取得の段階から、その利用、保管、廃棄にいたるまで適切に管理されていた。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	25 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	4	4.8	
	樹木、草花及び種苗の管理	26 樹木、草花及び種苗を適正に管理しているか また、収集、保存、展示に努めているか	6	4	4.8	
	施設更新計画	27 長期保全更新計画を立て、市へ報告しているか。	2	3	1.2	
	清掃業務	28 施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	4	4	3.2	
	警備業務	29 施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	4	3	2.4	
	外構・植栽管理	30 外構・植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか	2	3	1.2	
	備品管理	31 設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	2	3	1.2	

(評価の理由)

- ・老朽化した施設を適切に維持管理しているとともに、二ヶ領用水への転落防止のための植栽、五ヶ村掘への転落防止のためのネットフェンスを設置するといった来園者の安全対策にも努めている。
- ・樹木、草花及び種苗に関しては、仕様書以上の水準で管理を行うとともに、定期的な直営職員の農薬散布による、チャドクガの駆除や、冬期に実施した委託による、ヘリグロテントウミノハムシ等の駆除を行うことで、良好な植物管理、来園者が満足できる植物の展示を行った。
- ・園内の日常清掃等は仕様書以上の頻度で実施されていた。

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市内唯一の都市緑化植物園として、都市緑化の推進を図るという事業目的を達成するために、仕様書を上回る水準で園内の維持管理を行うとともに、市の事業である「川崎市みどりのカーテン大作戦」、「CCかわさきエコ暮らし」に協力し、ゴーヤやアサガオの苗を提供するなど、本市の緑行政にも大きく貢献した。

また、園内のバリアフリー化や講座の増設等、サービス向上に努めているとともに、地域との連携により緑化センターまつりを開催し、前年度以上に多くの人を集め、本市及び多摩区の魅力向上に大きく貢献した。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・緑化センターの情報発信方法が市広報に頼っている部分が多いため、他の広報媒体やホームページの活用し、更なるPRに努めるよう指導した。

・前年度より入園者数調査の回数、アンケートの回答数ともに増えているものの、アンケート様式に改善の余地があるため、更なる入園者数調査、満足度調査の充実を図るよう指導した。